

令和元年度

社会福祉法人あゆみの会

事業報告書

社会福祉法人あゆみの会

## 1. 総 論

### (1) 施設建設について

令和元年度は2カ所の施設整備を行った。施設整備に当たっては、前半は東京オリンピックにより建築費・建築部材の高騰、後半はコロナウイルスによる経済活動の停滞による部材調達が懸念されるなど、建築についての環境は厳しいものがあった。そうした中、となりのすまいる保育園の工期が2カ月遅れ、当初1月15日の竣工予定が3月となつたが、高階すまいる保育園は予定通り3月に竣工でき、両施設ともに年度内に引き渡しを受けることが出来た。

### (2) 職員採用について

保育士不足が指摘される中、養成校・ハローワークや求人媒体、ホームページでの広報の他、近隣へのチラシ配布、看板の設置、新入職者への引越し・家賃補助など、様々な活動を重ねた結果、新卒3名、転居者2名を含め約40名の職員（非常勤職員含む）の採用により、法人全体の職員数は約140名となった。

### (3) 福利厚生について

社会福祉充実計画に基づき「となりのすまいる保育園」（内閣府企業主導型保育所及び地域子育て交流センター）を設置した。その結果、在職中の職員の方にとっては産休・育休後の保育園の入園について心配がなくなり、新入職の方にとっても安心し入職出来る環境を整備できた。また、法人内での研修・部会、委員会などについても各施設ではなく共用できる場をつくることが出来た。

### (4) 保育の質の向上について

すまいる委員会の分科会の中で、保育の質の改善に取り組んできた。子どもの姿から目に見えない子どもの発達や心の動きをエピソードとして記述したり、保育環境を客観的に評価するスケールを導入し課題を見つける等、座学だけでなく積極的に参加できる研修、アクティブラーニングを心がけた。

また汐見稔幸先生や加藤繁美先生、藤森平司先生をはじめ多くの先生方に指導をいただくことができた。中でも井上寿先生の指導の下、園庭や室内環境を自ら変えていく

ドイツでの海外研修では、保育園・幼稚園を視察し、民主主義を支える良き市民を育てるという視点を持ち、子どもたちに自分で考え、相手の話を聞き、意見を伝えるということを幼少期から積み重ねていくことの大切さを学んだ。大人が正解や効率の良い考えを与えるのではなく、自分達自身が答えを生み出していくプロセスを大切に保育を組み立てることを保育の基本の一つにすることとしたい。

### (5) 事務の合理化について

新園の開設に伴い、事務作業の増大が予想されることからそれに対応する必要がある。本年度は事務会議を通じ、各施設の勤怠管理、集金業務などをマニュアル化を進めた。

## 2. 詳 論

### (1) 新園の開所について（2020年4月開所）

#### 1) となりのすまいる保育園（埼玉県ふじみ野市内閣府企業主導型保育所）及びおとなりさん

（埼玉県ふじみ野市内閣府企業主導型保育所地域子育て交流センター）について

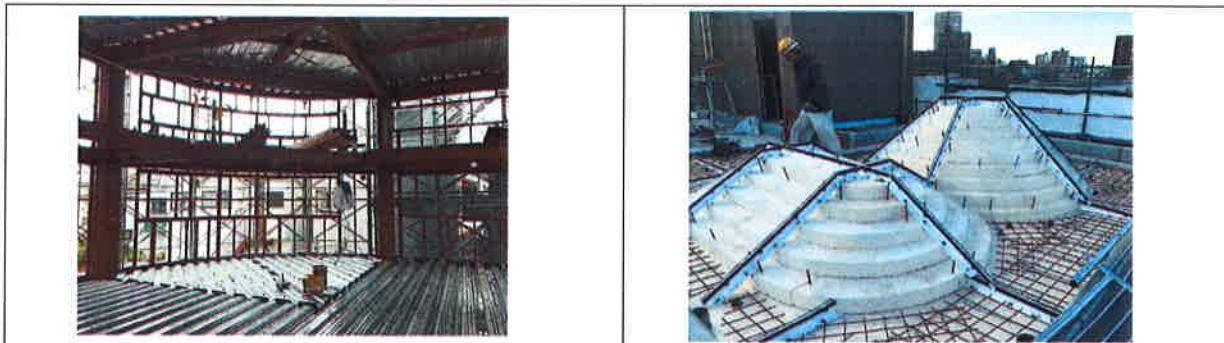
- 福利厚生の充実
- 地域ネットワークの拠点構築

企業主導型保育所では事業者枠を利用する企業と連携を図ることで、地域・社会とのネットワークを広げることが期待できる。また、地域子育て交流センター「おとなりさん」を地域の福祉拠点として地域と企業を結ぶ拠点を構築できた。

## 2) 高階すまいる保育園（埼玉県川越市認可保育園）について

川越市諏訪町に認可保育園「高階すまいる保育園」（認可定員80名）の施設整備を行った。設置場所は既存園の鶴ヶ岡すまいる保育園より車で10分の立地となっており、園バス等により既存園との交流等、保育を行う上で大きな相乗効果を見込むことも出来る。

設置場所は、自治会長を務めていた地権者様により地域の交流の拠点となっていた。想いを引き継ぎ、子育て支援センターの設置を川越市に提案していくこととした。



### (2) 職員採用について

保育士の採用は依然として大変厳しい状況であった。採用には特効薬ではなく、園見学、説明会、ホームページ、チラシ配り、ハローワークや養成校との連携、求人媒体の利用など、小さなことを積み重ねていった。また現在就労している方も、楽しくやりがいを持って就労できるよう、待遇や保育内容、自主性を尊重していくよう心掛けた。

### (3) 福利厚生について

となりのすまいる保育園の新設により、福利厚生を充実することが出きた。また近隣の方だけでなく広いエリアに求人をおこなうため、転居費用の補助や家賃補助等を拡充した。現在、川越市、ふじみ野市では家賃等の助成がないため法人の委託費より支給をしていくこととなった。

### (4) 保育の質の向上について

求職中の方、保育関係者、養成校の教諭など、多くの方に園見学に来ていた。外部の方にみていただることで保育の質が向上することを感じた。また、園見学をした後に入職を決める方も多く、質の高い保育を行うことは入職者を増やすことにもつながることを学んだ。

#### ○ 研究会・勉強会

##### 1) 新宿せいがこども園臥竜塾

新宿せいが保育園で毎月行われる、文字・数・科学への関心を高める教具や活動についての実技研修「臥竜塾」へ各園より職員を派遣し、情報収集を行いました。乳児、未満児、幼児の実践を発表などを通して他園の実践を学ぶ機会となりました。

##### 2) 保育環境研究所ギビングツリー(GT)

ギビングツリーは、保育園施設設計のコンセプトをはじめ、新しい保育環境と保育方法を提案しているシンクタンクです。いま求められている社会的ニーズを総合的に調査・分析し、施設経営の強化を環境設定を通じて図っています。環境セミナーでは伊佐沼と三丁目の実践をまとめ発表する機会をいただきました。

##### 3) 藤森メソッド勉強会

GT（ギビングツリー）園の中で、様々な意見交換などをしながら学ぶ場です。令和元年度のテーマは

「せいがチャンネルを学ぶ」ということで、保護者に向けて動画やパワーポイントを使って、保育で大切にしていることや子どもの姿をを発信する方法を学びました。

#### 4) 臨床育児研究会

新渡戸短期大学で毎月行われる、汐見稔幸先生の主宰する臨床育児研究会にて保育のあり方・環境設定等、多岐にわたる情報を収集し、保育に活かすことが出来ました。

#### 5) からだ発達研究会

早稲田大学根ヶ山光一先生が主宰するからだ発達研究会に参加し、多くの大学研究者と共に、子どもの身体の発達について学ぶことが出来ました。当研究会出席者により園での臨床調査がはじまるなど研究者の方との交流を深めました。

#### 6) 親心を育む会

埼玉県の私立保育園。「親と子の幸せ」をただひたすらに願い続いている保育関係者の集まりです。スーパーヴァイザーは元埼玉県教育委員（平成20年）の松居和先生。月1回の定例会では、親と子の絆作りに、親心を育むために、私たち保育所が出来る事をテーマに各園知恵を絞り、活発に話し合っています。

#### 7) 子どもの文化学校、子どもの文化研究所

文民教育協会は文部科学省の財団として1947年に設立し、子どもの文化と教育に関わるさまざまな分野の人が集い、交流し、学びを深める集まりです。汐見稔幸先生、加藤繁美先生、今井和子先生など乳幼児教育を代表する先生方の教室で学ぶ機会を作っています。

#### 8) 本当の保育を探求する会

加藤繁美先生をお招きし、西部地区の有志の保育園が集まって始めた勉強会です。各自のシナリオ型エピソード記録を持ち寄り、エピソード記録を基にしたディスカッション形式の勉強会です。参加型の研修形式は、勉強会に参加した仲間とじっくりと対話をすることができ、子どもへの見守り方を学ぶ貴重な機会となりました。

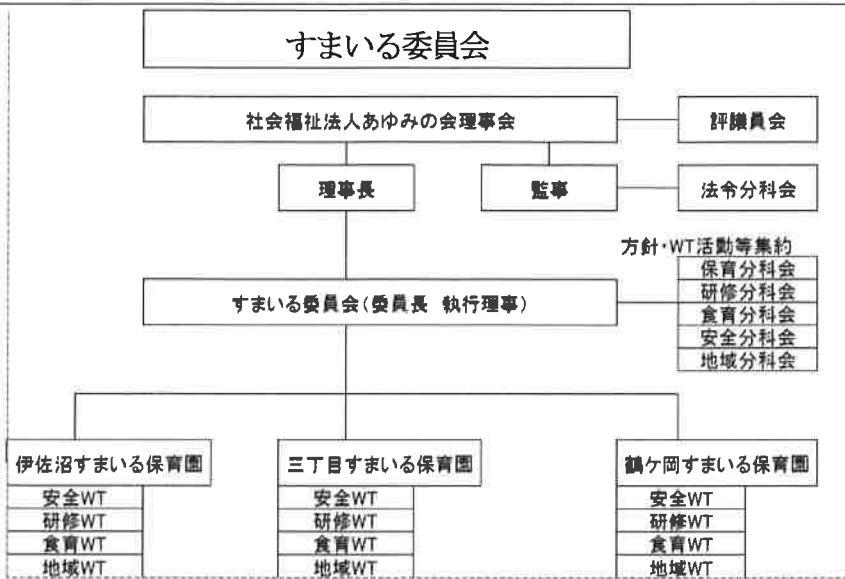
### ○ 他園交流

保育研究会の加盟園との交流や合同研修、里山での自然の中でルネッサンス教育を行っている狭山市の「けやのもり学園」等、子ども主体の見守る保育を提唱された「新宿せいが子ども園」や埼玉県松伏町「認定こども園こどものもり」等、素晴らしい実践を重ねている園を積極的に訪れ、保育の内容や考え方、環境設定や進め方等について学びました。

### ○ すまいる委員会・分科会活動

#### 1) すまいる委員会

本部に設置された「すまいる委員会」に6つの分科会を設置し各園からの委員による分科会（「保育」「安全」「食育」「研修」「保護者・地域支援」「法令（人権擁護）」）活動を行った。事例検討、情報交換や専門家を招き知見をお借りし、勉強会を重ね、保育の質の向上を図りました。本年度はすまいる委員会に専門家の外部アドバイザーに就任頂きました。



### ○ 令和元年度すまいるアドバイザー

- 保育アドバイザー（保育養成校 大学准教授）
- 環境アドバイザー（保育環境学会 一級建築士・保育環境専門家）
- 発達アドバイザー（発達研究者 発達支援ソフト チャイルドケアウェブ開発運営）

### イ. 保育分科会

アドバイザーとの定期的な研修や勉強会などに参加することで、新しい知見や保育を学び、保育の質の向上に努めました。

私立保育園連盟や日本保育協会、社会福祉協議会等に加入し、主催する保育研修等に積極的に職員を派遣し、常に新しい情報を取り入れています。

#### 1) アドバイザー指導の下、保育環境や関わりの評価、見直しを図る

##### ● クオーレの日、トミーの日

大学の保育研究者である保育アドバイザーがクオーレ委員に加わり、保育者と共に各園の環境やかかわりを見直す取り組みを始めました。今年度「新・保育環境評価スケール」（法律文化社、埋橋玲子訳）を用い、一定の評価基準の中で見定めていくようにしました。各園ともに現状の環境やかかわりなど高水準であるという結果だったが、造形や音楽リズムなどは課題も見られています。そのような点については、大学の専門にされている先生に来園いただき、実技指導や講義を受け知識を深めました。

##### ● 環境アドバイザー

伊佐沼、鶴ヶ岡に環境アドバイザーを招き、ワークショップを行いました。伊佐沼では園庭の土の入れ替えや築山の移動といった大規模修繕を行ったほか、未満児の園庭出入口付近にウッドデッキを作りました。室内では、子どもたちの意見を聞きながら1、2階にロフトを作りました。鶴ヶ岡では、園庭の砂場整備やブランコを作りましたほか、2階に大きなロフトを作りました。各園ともに「子どもの参画」をテーマに企画段階から子どもたちの思いを大切にし、制作の過程において意欲的に材料を運ぶ姿などが見られました。法人全体の職員のチームワークを高めるとともに、子どもたち自身の育ちを大いに感じられる機会となりました。



## 口. 安全分科会

環境アドバイザーによる環境整備に伴い、園内の「ハザード」に着目し安心して過ごせる環境づくりに取り組みました。ハザードとは子どもが予期できない危険性（転んだ先のコンクリート、とがった棒など）を指し、各園で見直しながら整備を行いました。具体的には、コンクリートにすのこを敷いたりウッドデッキを製作しました。また、保育者が人数確認を定期的に実施できるよう整備したり閉じ込め防止のためにトイレのドアの開放や開閉チェックなどに取り組みました。それにより、子どもにとって時間と空間の制限が少なくなり、主体性を育む中で保育者も安心して見守れる環境となってきているよう感じます。

子どもたちの安心安全を守るため、研修等に積極的に参加し学びを深めるとともに、厚生労働省から示された安全ガイドラインや市区町村より公表された事故報告書等を分析し、各園の安心安全の向上に努めています。

また各園の看護師による「看護部会」では感染症防止や緊急時の対応について、情報交換を行い、各園の看護体制や衛生環境の向上に努めています。

## ハ. 食育分科会

全園が自園調理となり、保育者も厨房に入り厨房業務を行うようになり、厨房関係者や保育者の境なく一体的に食育を進めていくようになりました。子どもの食事の時間については、決まった時間に食べるということを止め、時間の幅を持たせることでお腹の空いた時、食べたい時に食べられるようにしています。ただし、今までの課題の一つとして、片付けや衛生面への配慮も必要であることから保育者と厨房の連携が挙げられていました。今年度一体化を進めてきたことで、そのような点においてもコミュニケーションが取りやすくなり、食事の時間が子どもにとってより楽しい時間となったように感じます。また、お互いの現場での大変さや苦労などを知る機会となり、相互理解が深まったと感じています。伊佐沼すまいる保育園、鶴ヶ岡すまいる保育園では、園庭に畑を設置し、子どもたちが作物を育てました。三丁目すまいる保育園でも、プランターでの野菜栽培を行い、少しでも身近な環境で触れられるよう工夫しました。

## 二. 保護者・地域分科会

各園ともに、地域の方、保護者・ご関係者の方が園を訪れたり子どもたちが地域に出ていくことで、子どもたちとの関わり合いを作っていくことが出来ました。また、子どもの関心が高まっている遊びについてドキュメンテーションを作成し、写真やコメントにて保護者と子どもの様子を共有しています。ドキュメンテーションを共有することで、それらを見ながら保護者と子、保護者同士、子ども同士、保育者と子どもなど対話が生まれ、保育理解にもつながっていると思います。

地域活動については、各園で地域の方へ行事への参加を促し、ハロウィンでは地域の方より広範囲の協力を得ることが出来ました。また、三丁目すまいる保育園では地域の清掃活動や焼き芋会の参加、伊佐沼すまいる保育園は「夕映え」という地域の集いの場所に出向き交流を深めた。鶴ヶ岡すまいる保育

園では、地域のコミュニティセンターでの様々なサークル活動に参加し交流をするとともに、園内にも招くなど、地域への貢献を図って参りました。

#### ホ. 研修分科会

本年度は研修の形態の見直し、「学びの日」「グループの日」など研修の目的を明確化しました。その中でも、グループの日では加藤繁美先生の勉強会で学んだことを活かしてシナリオ型エピソード記録をもとにディスカッション中心の内容としました。法人内で子どもへのまなざしを共有することで、大切にしている子ども観が明確になったと感じています。また、法人の全体研修でもさくらしんまち保育園の小嶋泰輔先生を講師としてお招きし園内研修を行いました。自主研修として、環境アドバイザーの井上寿先生、秋草学園短期大学の浅井拓久也先生、白梅学園短期大学の花原幹夫先生、東京家政大学の加藤繁美先生の研修に参加いたしました。

#### ヘ. 法令分科会（人権擁護委員会）

原則、行政監査が実施されない各施設に対し、年1回の内部監査を実施し各園で法令やガイダンス、マニュアル等に則った運営がなされているかを確認しました。本年度は実施指導監査を受けた伊佐沼すまいる保育園を除く、2園について埼玉県より提出期日を令和元年11月29日とする書面監査がありました。2園ともに書面監査に合わせ埼玉県の監査チェック事項に基づく内部監査を実施しました。保育環境確認としてこども教育宝仙大学の富山大士先生と共に主任、副主任が定期的に回りました。

遵法体制を整備するため弁護士事務所と顧問契約を結んでおり労基関連の法改正への対応や各種契約業務等、きめ細かく指導を受けながら業務を進めています。

分科会	場所	開催状況
保育分科会	三丁目	4/10、5/15、6/12、7/26、8/23、9/26、10/9、11/13、12/11、1/15、2/17
食育分科会	三丁目	4/11、5/16、6/13、7/6、8/21、9/12、10/9、11/29、12/12、1/15、2/14、3/12
看護分科会	三丁目	4/9、5/14、6/3、7/9、8/20、9/10、10/7、11/12、12/10、1/14、2/10、3/10、
安全分科会	三丁目	4/9、5/14、6/3、7/6、8/20、9/10、10/7、11/12、12/10、1/14、2/28、3/10
研修分科会	三丁目	4/10、5/15、6/12、7/10、8/22、9/19、10/8、11/13、12/11、1/15、2/12、3/11
地域・保護者分科会	三丁目（伊佐沼）	4/15、5/16、6/13、6/18、7/2、7/18、8/21、9/13、10/9、11/18、12/16、1/14、1/21、2/14、2/20 *支援センター会議は伊佐沼で開催
法令分科会		11/29（鶴ヶ岡・三丁目書面監査） 11/26（鶴ヶ岡内部監査委）、12/20（三丁目内部監査） 6/26、9/24、11/21（鶴ヶ岡クオーレの日 保育環境確認） 6/21、9/3、10/24、2/28（伊佐沼クオーレの日 保育環境確認） 6/25、10/3、1/20（三丁目クオーレの日 保育環境確認）

#### （5）事務の合理化について

各園の事務担当者による定例事務会を開催。問題点を共有するとともに保護者集金方法、出勤簿管理などを統一した。

(6) その他

1) 理事会開催日時

臨時理事会

理事会 令和元年5月15日（入札方法選定臨時理事会）

理事会 令和元年6月22日（理事長選任理事会）

理事会 令和元年7月13日（入札理事会）

定期理事会

第一回理事会 令和元年6月1日

第二回理事会 令和元年12月14日

第三回理事会 令和二年3月28日

2) 定期評議員会

令和元年6月22日

以 上

# 令和元年度 伊佐沼すまいる保育園 事業報告書

## 1. 平成31年度 総括

開園9年目となり、来年度は開園10年目の節目を迎える。昨年度同様すまいる委員会を中心として、保育内容や安全面など適宜見直し、修正しながら保育の質の向上に努めた。

保育環境としては、井上寿先生（一級建築士・こども環境アドバイザー）の指導の下、わくわく組の子どもたちが参画して室内や園庭の環境の改善に取り組む。9月には、井上先生に来園いただきワークショップを開催する。「お部屋にこんなものがあつたらいいな」と子どもの手紙から、わくわく組の秘密基地プロジェクトが始まり、姉妹園交流にて遊ばせてもらった鶴ヶ岡のロフトを参考に宙グループを中心に設計図を作成した。姉妹園の先生方にも手伝っていただきながら、わくわく組保育室と玄関ホールにロフトを設置する。ワインターフェスタでは保護者参加のワークショップを行い、園庭に高台を設置する。引き続きパーテーション、ベンチ、土台、棚等を製作し、2月には園庭に築山が完成する。

①整備を進めていく方策 ②環境の安心性 ③子どもが自ら育つ園庭 について職員間で学びつつ、環境整備を進めていきたい。



井上先生に計図を見ていただき



完成した3階建てロフト



玄関ホールのロフト



職員手作りのベンチ



保護者参加のワークショップで出来上がった高台



パーテーションでのコーナー設定



5日がかりでバージョンアップした築山



園バス導入に伴い、戸外活動の範囲が一層広がった。子どもたちが話し合い、それぞれの希望を聞きながら目的地を決めて、今昔村、けやの森学園里山、丸山公園、智光山公園、アクアショップ（仮称水族館）等に出かけ、園内では体験できない有意義な時間を過ごすことができた。さらに、近隣小学校（南古谷小・仙波小）、介護老人ホーム（すまいる小江戸）、竹林での笹取り（七夕）、畑の収穫にも園バスを活用した。今後も園バスを利用して、経験の幅を広げていきたい。

園バスがあることで姉妹園との交流も活発になり、鶴ヶ岡では茶摘みを体験してお茶の試飲をし、三丁目では年下の子と手を繋いで三丁目公園で遊ぶ等、子どもも大人も名前を呼び合い、すまいるの仲間として交流を深めた。今後も子どもたちの記憶に残る体験を重ねていきたい。



地域との交流では、敬老の日にちなみ、わくわく組が地域のお年寄りの憩いの場（夕映え）を訪問して得意なダンスを披露し、カルタを楽しんだ。ハロウィンでは、手作りの仮装をした子どもたちがハロウィンマークのあるご近所を訪問してお菓子をいただいた。当日は JCN 関東川越支社の撮影があり、地域の皆様に支えられた活動の様子が放映された。

近年、核家族化等が進み地域とのかかわりが少なくなっていく中で、保育園には地域に開かれた福祉の場であることが求められている。地域とのかかわりを通して子どもたちの人とのかかわりが豊かになることは勿論のこと、周囲の人たちとかかわり合い、支えあって生きている感じることにも繋がっていく。地域の自然、高齢者や異年齢の交流を通してかかわりを深め、より身近に楽しく保育が展開されるよう取り組んでいきたい。



## 2. 児童利用状況

### 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	6	5	6	7	7	8	9	9	9	9	9	9
1歳児	16	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15
2歳児	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
3歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
4歳児	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
5歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9

### 延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	137	107	154	143	116	128	115	126	90	69		

## 3. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:30	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:30～16:30		最大 8 時間	
夕方延長	16:30～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

## 4. 職員

### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	9人	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	1人	支援センター	0人
パート職員	24人	保育士	11人	看護師	2人	栄養士	0人	支援センター	4人
調理員	4人	嘱託医	2人						

## 職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	31	31	31	33	33	33	33	33	34	36	37	37	402
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	8	8	8	8	8	8	7	8	8	8	8	8	95
うち保育士パート	9	9	9	10	9	9	9	8	8	9	9	9	107
うち看護師	2	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	26
うち調理員	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	5	5	40
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち子育て支援	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	39
うち産休育休	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	31
うち保育補助	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	4	47

## 5. 運営報告

### (1) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
S A会	1	1	0	1	1	0	0	1		1	1	1
三金会	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

### (2) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を通した命の営み」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む 保育と給食の一体化を目指して、栄養士、調理員、保育者が連携する
環境 WT	子ども自ら環境に関わり、活動が豊かに展開されるよう様々な環境を整えていく
保育 WT	保育理念、保育目標、保育所保育指針に基づいて、子どもの主体性及び非認知能力を伸ばす保育のあり方について実践を通して議論し学びを深める
地域 WT	地域ともに育ちあえる保育を目指して、地域との交流を深める
人権 WT	子ども、保護者、働く仲間の人権を守るための話し合いを大切にする

## 6. 保育・処遇

### (1) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育の振り返りを行い「見守る保育強化月間」を実施した</li><li>・キッズリー、ブログを通じて保育内容を積極的に伝え、保育の可視化に力を注いだ</li><li>・送迎時の対話をはじめ、日頃のコミュニケーション、定期個人面談のほか、希望に応じて個別面談を行った</li></ul>
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none"><li>・現在の子どもの状況を共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える場を設けた</li><li>・川越市とタイアップした巡回発達相談を通して臨床心理士の指導の下、適切な対応に努め、成長著しく成果を上げることができた</li><li>・保護者の悩み等は、適宜個別面談を行い、子育ての不安を解消した</li></ul>
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・口頭による要望、ご意見箱に投函された書面、保護者会役員からの質問等、小さな事柄であっても相手の立場に立って考え、全てを真摯に受け止め、誠意ある対応に努めた</li><li>・年度当初及び年度末の定期総会をはじめ、11月、12月の役員会に出席し、忌憚のない声を傾聴し、その後の保育に反映させた</li><li>・書面によるやり取りだけでなく、対面して会話することを大切に信頼関係の構築に努めた</li><li>・行事や保育参加、園便り等の感想は好意的なものが多く、感謝の気持ちを掲や掲示、翌月の園便りで伝えた</li></ul>

### (2) 年間行事の振り返り

- ・前年度と同様に子ども中心の行事や、保護者も一緒に参加して親子で楽しんでいただけるような行事の実施を心がけた。
- ・子どもたちが行事を通して、地域の方と繋がっていくことで、地域に受け継がれている伝統等を知るよい機会となった。

### (3) 給食・食育運営状況

- ・個々の発達や生活リズム等に合わせて、和やかに食事が出来るよう、個々の気持ちを尊重した関りを心がけ、一人ひとりのペースに合わせた食事が摂れるようになった。
- ・「厨房をもっと身近に」をテーマに、子どもたちの見学ツアーを実施した。
- ・普段見ることのない調理設備や調理員たちの動きを見て、自分たちの給食がどのようにして、出来上がるのか知ることができ、自分たちの分を実際に作ってみようという活動に繋がった。
- ・畑での野菜を収穫しての焼き芋大会やクッキングを通して、食の繋がりを感じる体験ができた。

#### (4) 保健に関する実施結果

園児健康診断	年2回実施（6月21日・11月22日）
歯科検診	年1回実施（6月27日）
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	年度当初：全職員 毎月：0歳児担当・厨房担当者実施
流行した感染症	ヘルパンギーナ、手足口病、胃腸炎、インフルエンザA型、水頭症、溶連菌感染症、アデノウィルス、とびひ（いずれも集団感染には至らず）
その他、保健に関する取組	5月18日普通救命救急講習受講 8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

#### (5) 安全対策

##### 1. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月23日（火）	避難・初期消火	無	無	
5月15日（水）	避難・初期消火	無	無	
6月20日（木）	避難・初期消火・通報	有	有	総合訓練 水消火器訓練
7月16日（火）	避難・初期消火	無	無	
8月20日（火）	避難・初期消火	無	無	
9月13日（金）	避難・初期消火・通報 広域避難場所避難	有	有	総合訓練 引き取り訓練
10月15日（月）	避難・初期消火・通報	有	有	通報訓練 水消火器訓練
11月30日（土）	避難・初期消火	無	無	
12月26日（木）	避難・初期消火	無	無	
1月30日（木）	避難・初期消火	無	無	
2月14日（金）	避難・初期消火	無	無	
3月16日（月）	避難・初期消火	無	無	

##### 2. 非常災害備品の設置

- 非常災害備品用の倉庫を新規購入する。
- 賞味期限を確認して、非常食の入れ替えを行い、備蓄用品を点検した。

##### 3. 侵入者、不審者訓練

- 6月29日（土）園内研修にて、川越警察署の指導の下、不審者対応訓練を実施する。

## 4. 実施した環境整備の状況

- 命のリストによる日々の環境整備について、園内研修にて確認した。
- どきどきシート、日々の振り返り、昼礼等による各クラスの環境整備を実施した。
- こども宝仙大学富山先生のご指導の下、静と動、子どもの動線の整備、遊具作り等を行った。

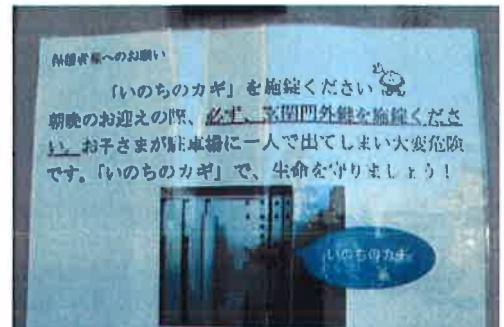
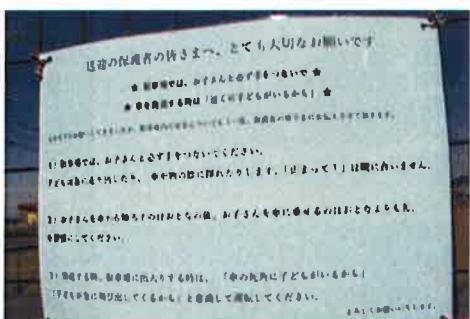
## (6) 地域との関わり

### ア 子育て支援

- 8月に「上福岡七夕祭り」にわくわく組の子どもたちが共同制作し作品を姉妹園の鶴ヶ岡・三丁目と共に出展した。
- 夕涼み会、ハロウィン、ワインターフェスタ、焼き芋大会、餅つき、節分等の行事を開催するに当たり、地域に手紙を配布し、各行事に複数名の地域の方の参加があった。
- 特にハロウィンでは16組の参加があり、子どもたちの様子を温かく見守っていただいた。

## 7. 危機管理

- 毎日の昼礼にて、インシデントやヒヤリハットとして、事故に繋がりそうなものを報告し合い、共有してきた。
- リスクの高い事例に関しては、具体的な対策が取れているかどうか確認し、不十分であった時には対策を講じてきた。
- 他園で発生した事故事例等について、姉妹園の代表者が集まる安全分科会等を通して共有し、自園の対応を話し合った。
- 新しくロフトを作成したり、園庭に高台を設置したり、従来の築山を大きく高く改造する等、リスクを伴う遊具が出来たため、改めて子どもたちと一緒に遊び方を考え、子どもの安全力を高かめる機会となった。



電子鍵の不具合により門扉を交換に伴い掲示も更新

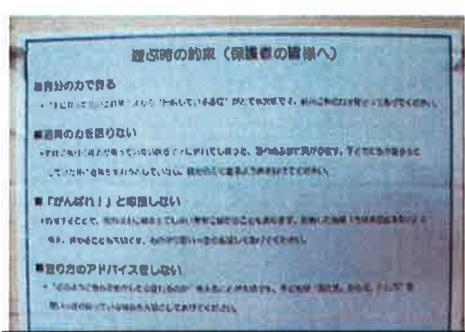
駐車場の利用について保護者に注意喚起



土台に筋交いをつけて補強



鉄棒に安全クッションを設置



子どもたちと考えたロフトのお約束

## 1. 職員研修(園内研修)

【平成 31 年度 内部研修実績】

実施日	研修内容	参加人数
4月 6 日	・アイスブレイク ・環境整備 ・支援センターワークshop ・看護師より保健業務について ・SIDS（突然死症候群）予防について ・午睡のあり方 ・気づきのシート ・人権について	16名
4月 20 日	・個人情報の取り扱いについて ・伊佐沼のスローガンについて ・電話対応（接遇） ・厨房より ・園バスについて ・月案検討	20名
5月 18 日	・普通救命救急講習（川越消防署） ・出勤簿記入について ・シナリオ型エピソード記録について ・保育参加について ・熱中症対策 ・地域 WT より ・支援センターワークshop ・事務連絡 ・厨房より ・CCWについて ・ポートフォリオについて ・散歩マップ及び散歩時の見守り ・虐待について ・キッズリーについて ・安全分科会より ・気づきのボード ・備品購入の流れ ・月案検討	86名
6月 29 日	・不審者対応講習（川越警察署） ・保護者対応について ・不審者対応マニュアル確認 ・外部研修等報告会 ・事務連絡 ・自然とのかかわり ・月案検討	23名
7月 6 日	・環境整備 ・月案検討 ・夕涼み会準備 ・外部研修等報告会 ・各分科会報告	20名
7月 27 日	★姉妹園（伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目）合同研修 ・ホームページについて ・ドイツ研修報告 ・シナリオ型エピソード記録について ・保育所保育指針改定の概要（浅井拓久也先生講義） ・各分会今年度の取り組みについて活動報告 ・グループワーク ・法人より	23名
8月 24 日	・外部研修等報告会 ・クオーレの報告 ・事務会議報告 ・親子ふれあい遊び会について ・保育環境ゾーン設定について ・保育分科会より ・ドキドキデーについて ・環境整備 ・保育の意図すること ・庶務担当より ・地域分科会より ・月案検討	20名
9月 7 日	★姉妹園（伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目）合同研修 ・研修の目標・子どもが育つ環境を考える ・各分科会活動報告 ・保育所保育指針の理解を深め実践にいかす ・小嶋泰輔先生講義～個性心理学をヒントに～ ・法人より	19名
9月 11 日	○伊佐沼クオーレにて ・井上寿氏講義（子どもを取り巻く環境の安全性について・主体性を尊重し環境を通した保育を実践するために・遊具に関する基準・安全性について）	19名
9月 21 日	・安全 WT より ・ワークショップ ・各分科会報告 ・各分科会報告 ・ブログについて ・看護師より ・月案検討	18名
9月 28 日	・環境整備 ・月案検討 ・外部研修等報告会 ・各分科会報告 ・親子ふれあい遊び会準備	20名
10月 26 日	・加藤繁美氏（家政大学教授）「保育の本当を探求する会」グループワーク及び講義	9名
11月 30 日	○午前：園内研修 ・SSW ・ウィンターフェスタ準備 ○午後：鶴ヶ岡にてグループの日 ・グループディスカッション ・保育分科会より ・シナリオ型エピソード記録について ・今後の研修予定 ・法人より	19名
12月 21 日	・環境整備（年末大掃除）	18名
1月 18 日	○グループの日 ・シナリオ型エピソード記録 ・職種別課題討議 ・課題解決に向けた提案	22名
2月 8 日	・安全 WT より ・命のリストの経緯について ・月案検討 ・懇談会準備 ・園庭遊具の片づけについて ・移行に伴う確認 ・移行に伴う環境整備	20名
2月 15 日	★姉妹園（伊佐沼・鶴ヶ岡・三丁目）合同研修 ・法人より ・新年度体制 ・新体制引継ぎ及び確認 ・保育計画等立案	19名
3月 14 日	・年度末総括準備 ・令和 2 年度保育計画 ・新年度準備	17名
3月 28 日	・新年度準備 ・環境整備 ・新年度保育内容等確認	17名

### 【平成31年度 内部自主研修実績】

実施日	講師	研修内容	会場	参加人数
4月23日	小口偉氏（秋草学園短期大学）	造形あそび	鶴ヶ岡保	3名
5月14日	浅井拓久也氏（秋草学園短期大学）	第1回浅井塾（保育原理）	鶴ヶ岡CC	7名
6月4日	吉永早苗氏（東京家政学院大学）	子どもの感性と表現	鶴ヶ岡CC	3名
6月20日	浅井拓久也氏（秋草学園短期大学）	第2回浅井塾（指針改定の概要）	鶴ヶ岡CC	7名
6月24日	村上千幸氏（山東こども園園長）	3歳未満児の発達について	鶴ヶ岡保	6名
11月7日	浅井拓久也氏（秋草学園短期大学）	第3回浅井塾（幼児期の終わりまでに育つて欲しい力を活かした保育）	鶴ヶ岡CC	9名
11月15日	中堅研修	自主研修等研修の成果	三丁目	3名
1月22日	浅井拓久也氏（秋草学園短期大学）	第4回浅井塾（保育所児童保育要録と連絡帳の書き方）	鶴ヶ岡CC	6名

## 2. 外部研修

### 【H31年度 外部研修実績】

実施日	研修名及び講師	研修内容	会場	参加人数
4月10日	新任研修	福祉職倫理・社会法相体系	彩の国すこやかプラザ	1名
4月9日	臨床育児保育研究会	汐見氏講義・実践報告	こども宝仙大学	1名
5月4・5日	日本保育学会	保育研究発表聴講	大妻女子大学	1名
5月8日	新任研修	仕事の進め方と手順・チームワーク	建産連研修センター	1名
5月11日	PCMセミナー 星野優美子氏	Key To Meセミナー（再受講）	プラネットホース	1名
5月19日	保育アップ	発達支援・ITC化コミュニケーション	学研ビル	1名
5月22日	新任研修	記録の書き方	彩の国すこやかプラザ	1名
5月28日	川越市研修・汐見和恵氏	指針改定のポイント	ウェスタ川越	5名
6月1日	けやの森自然塾	自然体験公開討論	狭山市民会館	1名
6月1日	PCMセミナー 星野優美子氏	Basicセミナー	プラネットホース	1名
6月5日	新任研修	福祉職としてのスキル・知識	彩の国すこやかプラザ	1名
6月6日	川越市研修・高山恵子氏	発達障害のある子との関わり方	ウェスタ川越	5名
6月28日	川越保健所食品衛生課	正しい知識で食中毒対策	川越保健所	1名
6月28日	公開保育研究	3歳以上児の保育	お茶の水大学付属幼稚園	1名
6月29日	保育の本当を探求する会 加藤繁美氏	シナリオ型エピソード記録 研究的実践家として保育する	狭山市産業労働センター	4名
7月24日	危機管理研修 掛札逸美氏	保育の価値とリスク	カルタスホール	1名
8月5~6日	GTセミナー・藤森平司氏	保育環境・見守る保育	コングレススクエア 日本本橋	1名
8月21日	GTサミット・藤森平司氏	経営と実践・世界標準の保育	コングレススクエア 日本本橋	1名
8月31日	しいの実会・加藤繁美氏	保育実践記録から保育を語る	ウェスタ川越	2名
9月19日	川越市・小野友紀氏	楽しく食べる子どもの食事	ウェスタ川越	4名

10月20日	おおぞら教育研究所	園庭の研究会実践報告	鳩の森保育園	2名
10月26日	保育の本当を探求する会 加藤繁美氏	シナリオ型エピソード記録 子どもの視点から実践を見つめ直す	入間健康福祉センター	6名
12月19日	川越市医師会	教育施設における感染症予防	川越保健所	1名
12月21日	施設長研修危機管理編	危機管理コミュニケーション	東京建物日本橋ビル	1名
1月8日	施設長研修運営管理編	保育制度・組織マネジメント	大崎ブライトコア	1名
1月20・22日	GTセミナー・藤森平司氏	保育環境・見守る保育・実践発表	コングレススクエア 日本本橋	1名
1月23日	川越市私立保育園協会 井桁容子氏	みんなが育つ丁寧な保育	ウェスタ川越	3名
毎月1回	臥竜塾・藤森平司氏	保育環境・見守る保育	新宿せいがこども園	2名
適宜開催	子どもの文化学校	保育内容・保護者対応・子育て支援	目白ファッショングループ アートカレッジ	2名

### 【H31年度 キャリアアップ研修実績報告書】

実施日	研修内容	研修場所	参加人数
7月22日	保育マネジメント	大宮ソニックシティ	1名
7月17日・24日	保護者支援・子育て支援	ウェスタ川越	2名
8月6・9日	保健衛生・安全対策	大宮ソニックシティ	1名
9月2・3日	乳児保育	ウェスタ川越	1名
9月2・3日	保健衛生・安全対策	立正大学	1名
9月20・21日	乳児保育	ウェスタ川越	1名
11月21日	幼児教育	東上パールビルディング	1名
12月10・13日	乳児保育	東上パールビルディング	1名
1月6・7日	保育マネジメント	ウェスタ川越	2名
1月23・24日	食育・アレルギー対応	東上パールビルディング	1名

### 3. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ご意見箱や口頭、連絡帳等で寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い個別に対応した。
- ケースに応じて、法人本部に報告・相談し、指示を仰ぎながら対応した。

# 令和元年度 三丁目すまいる保育園 事業報告書

## 7. 平成31年度 総括

平成31年度で開園5年目を迎えた。今年度は、外部の先生に多くのアドバイスをいただく機会が多くあり、質の高い保育を目指してきた。

保育環境では、姉妹園で行われた井上先生のワークショップに参加し、自園で出来る事を考えてきた。わくわく組では子どもたちがロッカーや棚に登って遊ぶ姿が多く見られるという事から、子ども達の登りたいという気持ちを考え保育室に高台を設置することで、特に2歳児の子どもたちが高台に挑戦するようになり、ロッカーなどに登る姿は減ってきた。合同保育でも使用しているにこにこ組の保育室には、窓見台を設置した。以前から、外を見るために子どもたちが、台を持って行って、外の様子を見たり、保護者とコミュニケーションを取る姿が見られている。製作にあたっては、夕涼み会や、ウインターフェスタ等の保護者参加行事の際に協力を呼びかけ行った事で、保護者と保育者が一体となって子ども達の環境を整える形となり、保護者理解も高まったと感じている。また、夏の遊びを充実させるために、2階テラスの有効利用を考え、人工芝を張りミストを設置するなどの工夫をした。暑さで散歩や戸外での活動が制限される時期にあそびの選択肢が広がった。



高台に挑戦！  
子どもたちが「きりん」と名付けました。



窓見台でお友だち同士楽しんでいます。



窓見に乗ると外がよく見えます。  
外とのコミュニケーションを楽しんでいます。



テラスの環境を整え、夏の遊びが広がりました

保育の面では、浅井先生の講座を受け、10の姿を意識した保育を展開してきた。日々の振り返りや、チェックシート等を活用し、10の姿に繋がる活動を考え保育を行ってきた。特に園庭のない三丁目では、近くの公園を使用しているため、環境の設定には限界があるが、10の姿を意識しながら、子どもたちの活動の様子を捉え、話し合いを進め、できる範囲で環境を整えてきたことで、子どもたちの遊びの幅が広がっている。また、ノンコンタクトタイムを設け、シナリオ型実践記録を順番で書くことにより、より子どもたちの姿を深く捉えられるようになってきている。

昨年度に引き続き、ポートフォリオやキッズリーを通して、保育の可視化を行い、保護者に受け入れられている。今年度はさらに保育計画を分かりやすいように、活動の写真と合わせて掲示することで、保護者の理解を深めている。

今年度より、土曜保育が鶴ヶ岡すまいる保育園での合同保育となった事や、園バスの導入で姉妹園との交流がしやすくなつたことにより、三丁目にはない広い園庭での活動や3歳児以上の子どもたちとの関わりが出来るようになった事で、遊びの幅が広がり、社会性や人間関係の発達が感じられる。

今年度も地域とに関わりを大切にしてきた。例年行われている自治会の夏祭りや七夕祭りに参加したほか、近くの高齢者施設のお年寄りとの交流や自治会の方々との交流も行った。園の行事に招待したり、合同で焼き芋大会も行った。焼き芋大会では、地域の方から、今後も恒例にしていきたいと言って頂けるほどであった。地域清掃に参加したり、地域の活動に積極的に参加するなどの保育者の地道な活動が地域から受け入れられる結果に繋がっていると考えられる。

保育の他では、つながる相談窓口や衣類バンクなど地域の活動にも貢献している。

令和2年度より、「となりのすまいる保育園」が開園することで、屋上園庭での活動、3歳以上児との交流等、活動の幅が広がり、更に保育の質が向上すると考えられる。

## 8. 児童利用状況

### 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	4	5	7	11	13	13	15	15	15	15	15	15
1歳児	22	22	24	24	23	24	24	24	23	23	23	23
2歳児	19	20	20	20	21	21	21	22	21	21	21	20

### 延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	45	50	57	50	53	65	54	50	42	35	43	

## 9. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00～8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00～16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00～18:00		有 料	
有料延長	18:00～19:00	有 料		土曜日は無し

## 10.職員

### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	人	保育士	8人	看護師	0人	栄養士	人	事務	1人
パート職員	人	保育士	17人	看護師	2人	栄養士	1人	事務	6人
調理員	5人	嘱託医	2人						

## 11.運営報告

### (5) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
リーダー会	1	2	2	2	0	2	2	2	2	1	0	0
フリー会	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

### (6) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
保育 WT	活動が豊かに展開されるように、書類の作成、CCW の活用、研修を受けて環境の見直しなどを行う。

## 12.保育・処遇

### (3) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	・日中の保育だけでなく遅番のヘルプなど、積極的に子どもの中に入ることで、子どもたちの様子から見えるエピソードなどを共有し、環境整備などの相談に乗れるよう努めた。 ・職員とは自己評価を基に定期的に個別面談を行った。
保護者面談および発達相談	・保育参加の際、保護者との面談を行い、保育園での生活の様子や、発達について共有した。 ・子ども発達支援巡回事業を利用し、発育発達に不安のあるお子様の様子を見てもらい、助言を頂く。
園児の保護者への支援および意見要望への対応	・特に保護者からのご意見を頂くことがなかったため、面談等は行っていない。

#### (4) 年間行事の振り返り

今年度も子ども主体で保護者と共に楽しめる行事作りを心掛けるとともに、地域の方にも声をかけ、地域の中の保育園を意識しながら行事を行ってきた。夕涼み会やウインターフェスタでは、子どもたちの興味、関心に合わせたコーナーづくりを行い子どもたちが無理なく参加する姿があった。また、保護者の DIY コーナーを設け子どもたちの環境作りに関わっていただいたことで、保育への理解が深まり、保護者通しの交流も生まれていた。また保育の中で行われる季節のイベントなどにも積極的に保護者の参加を促した。どのイベントにも何組かの保護者の参加があり、親子で楽しむ姿が見られていた。また地域の方にも声をかけ保育園や近くの公園に足を運んでいただき、子どもたちとの触れ合いがあった。「見せるための行事」ではなく「共に楽しむ行事」を行うことによって、子どもも保育者も無理することなく子どもたち、保護者、保育者、そして地域の方のたくさんの笑顔が見られたと思う。



DIY は、お父さんたちも楽しそうです。



今年度は、大型台風による「親子ふれあい遊び会」の延期、新型コロナウイルスの感染拡大による、1/2 卒園式の延期を余儀なくされたが、行事に対する考え方方が、行事は日々の保育の延長線上にあり、行事のために練習するなどの特別な保育はしていないため、影響はなかったと考えられる。

#### 給食・食育運営状況

食育活動では、毎月様々な形で 2 歳児を中心に、食材に触れたり、時には実際にクッキング体験も行った。月々の旬の食材を意識し、皮むきや、洗浄などで本物の食材に触れることで、匂いや感触を感じることが出来た。0 歳児であっても、その時の表情や給食に出てきた時の反応があり触れることが大切さが感じられた。また、子どもたちの意見を聞き、野菜を育て、収穫し、調理をして食べる体験もできた。食べ物ができる過程を体験し、食に対する興味が増したと感じられる。

また、食事中の子どもたちの様子をしっかりと見守るために、「食事中の心がけ」を見ながら食事の介助、見守りを行っている。見守り方を共有することで、姿勢や足の位置、を意識することができ、誤飲防止、事故防止、に繋がっている。

#### (7) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6 月 11 日と 11 月 19 日の 2 回実施
歯科検診	6 月 10 日の 1 回実施
保健だより	毎月家庭数配布
安全ニュース	年 3 回家庭数配布
職員健康診断	年 1 回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当実施
流行した感染症	・12 月にインフルエンザに 1 名感染したがその後の感染はなかった。 ・その他は、胃腸炎や RS ウィルスなど季節ごとに感染する子どもは見られたが、大きく広がってしまうことはなかった。

	・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国の指針に基づき対応をする。
その他、保険に関する取組	6月1日・5月25日、普通救命救急講習受講 8月14日、15日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

## (8) 安全対策

### ア 防災対策

#### 5. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日（月）	地震・火災・消火	無	無	
5月16日（月）	地震・火災・消火	無	無	
6月14日（金）	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
7月17日（水）	地震・火災・消火	無	無	
8月16日（金）	地震・火災・消火	無	有	
9月13日（金）	地震・火災・消火	無	無	
10月15日（月）	地震・火災・消火・通報	無	有	水消火器訓練
11月14日（木）	地震・火災・消火	無	無	
12月13日（金）	地震・火災・消火	無	無	
1月16日（木）	地震・火災・消火	無	無	
2月14日（金）	地震・火災・消火	無	無	
3月14日（木）	地震・火災・消火	無	無	

#### 6. 非常災害備品の設置

アルミ製リヤカー、災害用ヘルメット、カセット式ストーブ、カセットガスを新たに購入  
非常食、液体ミルクの購入、存期限間近の保存水、簡単湯沸かし器の交換。

#### 7. 侵入者、不審者訓練

玄関の施錠時間の徹底

#### 8. 実施した環境整備の状況

・今年度も「遊・食・寝」を独立して行える環境にすることを意識し、環境設定を行った。にこにこの保育室では、「遊・食・寝」を意識しながらも、子どもたちが自由に回遊できる導線にすることで、食べる、遊ぶ、寝るの流れが、子どもたち一人一人の主体的な動きから自然に見られるようになり、自立心に繋がっていると感じている。

わくわく組では屋台などの大きな遊具を移動することで、子どもたち同士がやり取りをしながら関わって遊ぶ姿が見られるようになったり、「きりん」の台を設置することで、今までロッカーや棚に乗って遊ぶ姿がなくなり、少しずつキリンの台に挑戦する姿が見られるようになった。また、テラスに人工芝を敷き、環境を整えたことで、外の世界を見たり、外の空気を感じられ活動の幅が広がった。暑い夏の活動を充実させる為、ミストを設置。暑い日でも外の活動を行うことが出来た。そのほかにも、子どもたちの興味関心に寄り添いながら、少しずつ環境を整えてきた。玄関にあったメダカの水槽を大きくし、子どもたちの意見を取り入れ他の魚を飼うことになった。玄関の水槽の前では子どもたち同士で覗いたり、親子で見ている姿もあり、癒しの空間になっていると感じている。

## (9) 地域との関わり

### 市、自治会への参加

- ・毎月第一日曜日に複数名の保育士で地域清掃・ラジオ体操に参加
- ・8月3日4日 上福岡七夕祭り参加
- ・8月24日 三丁目夏祭り参加

### ふじみ野ケアセンターとの交流

- ・5月23日 三丁目公園でケアセンター利用者と一緒に遊ぶ。
- ・10月29日 ふれあい運動会交流

### 保育園発信の活動

- ・夕涼み会、ハロウィン、ウィンターフェスタ、伝承遊びウィークの行事を開催するにあたり、地域に手紙を配布し、遊びや行事に複数名の地域の方に参加していただく。
- ・9月17日 秋のお楽しみ会 (PPボール作り:手紙配布)
- ・1月9日・2月13日 半日保育園体験 (手紙配布:1名参加)
- ・1月17日 自治会の方と焼き芋大会

### 公益的な取り組み

「つながる相談窓口」開設 ステッカー、のぼりの設置 「衣類バンク」

保育年間計画の可視化 可視化して保護者に掲示

## 13. 危機管理

- ・毎月安全WTによるヒヤリハットの分析を行う。リスクの高い事例に関しては、具体的な対策などを話し合って次の事故防止に努めた。
- ・気づきボードを設置し、保育者一人一人が小さなことに気づき、声を上げることによって、安全な環境づくりにつなげる。
- ・わくわく組では、子どもたちが、棚に登って遊ぶ姿が見られ、病院に行く事故も起きた。子どもの興味のある遊びに合わせ環境を整えることで、欲求を満たし、子どもたち自身の安全力を高めていった。
- ・他園で起きた事故事例を確認し、注意喚起を行うとともに、自分での対応などを話し合った。
- ・誤飲事故を防ぐために、「食事中の心掛け」を共有し、食事の見守り方を徹底した。

## 14. 職員研修(園内研修)

	主な研修内容	分類	参加人数	振り返り・改善点
4月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修、分科会報告</li> <li>・安全に対する確認</li> <li>・丁寧な食事の心掛け</li> <li>・保育の原理を考える</li> <li>・懇談会について</li> <li>・玩具作り</li> <li>・土曜保育について</li> </ul>	発・保・危・環・食	20名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・I期では室内環境や散歩先の環境等、安全に関する内容を多く取り組んだ。</li> <li>・散歩先の安全確認では、普段通っている道を再度確認して、順路や公園内の危険個所を共有した。</li> <li>・玩具作りの時間を多く取ることができ環境整備や保育にすぐに活用することができた。</li> </ul>
5月11日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部研修報告</li> <li>・熱中症、誤飲誤嚥について</li> <li>・園周辺、散歩先の安全確認</li> <li>・懇談会について</li> <li>・玩具作り</li> </ul>	危・発・環・保	20名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はプール遊びがなくなり、水遊びの活動が多く行ったため、水の事故について気温が暑くなる前に実施する必要性を感じた。</li> </ul>
6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通救命急救</li> <li>・外部研修報告</li> <li>・水の事故、蜂について、感染症について</li> <li>・夕涼み会について</li> </ul>	発・危・感・環	30名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕涼み会準備</li> <li>・地域のお祭りについて</li> <li>・玩具作り</li> </ul>
7月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夕涼み会準備</li> <li>・外部研修報告</li> <li>・章巻、怪我の対応について</li> <li>・シナリオ型実践記録</li> </ul>	発・環・危	21名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土曜日の研修で行事の準備をすることが多かった。その為、行事準備をスムーズに行うことができたため、今後も園内研修の時間を利用して行事準備を行なっていきたい。</li> <li>・加藤繁美先生のシナリオ型実践記録を園内研修で行うことで、保育者一人一人の保育への視点を共有することができ、新たな発見や意識統一をするよい機会となったので、今後も継続的に園内研修や三園合同研修で行っていきたいと感じた。</li> </ul>
7月27日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPIについて</li> <li>・保育所保育指針改定の概要(外部講師浅井先生)</li> <li>・分科会報告</li> <li>・シナリオ型実践記録</li> <li>・ドイツ研修報告</li> </ul>	発・環	22名	
8月24日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい会について</li> <li>・年齢別10の姿</li> <li>・下半期の計画</li> </ul>	発・環	18名	
9月7日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の個性を認め合う人間関係へ(外部講師小嶋先生)</li> <li>・年齢別10の姿の活用</li> <li>・園庭改造について</li> <li>・分科会報告</li> </ul>	発・環	22名	
10月5日	・ふれあい会準備	環	11名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3期では、新設園の説明会や行事準備などが多かった。</li> <li>・11月の園内研修ではインフルエンザなど感染症などの内容を行いましたが、時間が短かったように感じた。</li> <li>・毎年、内容は変わらずではあるが、再確認としても少し内容を掘り下げられたら良いのではないかと感じた。毎年内容を聞いている職員の方が率先していろいろな意見を伝えてくれたのがよかったです。</li> </ul>
10月19日	・となりのすまいる保育園説明会		10名	
11月9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊佐沼、高階入園説明会</li> <li>・三丁目、となり入園説明会</li> </ul>		10名	
11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウインターフェスタ準備</li> <li>・インフルエンザ、虐待について</li> <li>・食具について</li> <li>・シナリオ型実践記録</li> <li>・年齢別10の姿実践</li> </ul>	環・感・虐・食・発	17名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・午後の初めのグループの日では、午前から午後の移動の時間が短く、少し詰め込みすぎたように感じた。クリーンの日、グループの日は別日に設けられるように組みたい。</li> </ul>
12月21日	・大掃除	環	15名	
1月18日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会について</li> <li>・シナリオ型実践記録</li> <li>・グループディスカッション</li> </ul>	環	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2回目のグループの日では、1日を通して行うことが出来たので、移動もなくスムーズに行うことができた。</li> <li>・グループディスカッションをメインに行ったことで、他園の保育者同士で話をすることで、保育親や視点の共有をする良い機会となったように感じた。</li> <li>・また、同じ法人でも困ったことや悩みなどは異なり、共有することによって新たな発見や具体的なアドバイスなどを聞けたことにより、新たな発見ができたり、改善策がすぐにでてくることもあった。</li> <li>・その内容を明日からの保育に繋げられれば良いと感じた。</li> </ul>
2月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度の計画作成</li> <li>・ヒヤリハット集計結果報告</li> <li>・個人カンファレンス</li> <li>・事務から報告</li> <li>・各自業務</li> </ul>	発・環・危	14名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2月では来年度の計画を振り返り、来年度の各計画を立てることができた。園内研修で取り組めることで、より深く話し合うことができた。</li> </ul>
2月15日				
3月7日				
3月14日	・二分の一卒園式			
3月28日	・来年度準備			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体会議(月次振り返り等):毎月1回</li> <li>・にこにこ会、わくわく会、にこわく会:毎月1回</li> <li>・研修WT、安全WT、食育WT、環境WT:毎月1回</li> </ul>				
分類【発:子どもの発達(養護と教育)、発達支援 環:環境 保:保護者支援 危:危機管理、ヒヤリハット 食:食育 虐:虐待 感:感染症予防】				

## 15. 外部研修

2019年度 外部研修実績（自主研修含む）

日付	研修内容	場所	参加者
4月19日	社会福祉法人制度改革事務担当者フォローアップセミナー	TFTビル東館9階	1名
4月23日	子ども文化 わらべうた・手遊び教室	子どもの文化学校	1名
5月4日	日本保育学会 「新しさ」とは何か保育におけるブリコラージュの視点	大妻女子大学	2名
5月5日			
5月8日	子ども文化 1歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
5月16日	子ども文化 子どもの心が育つということ	子どもの文化学校	3名
5月17日	クレーム対応研修 基礎編	埼玉建産連研修センター	1名
5月18日	保育現場の人間関係構築について	新宿マイナビ	1名
5月20日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
5月23日	次世代リーダー研修	すこやかプラザ	1名
5月23日	処遇改善加算Ⅱの運用について	埼玉会館	1名
5月23日	腰痛講座	鶴ヶ岡すまいる保育園	3名
5月24日	子ども文化 同僚性を高めより良い職場をめざす教室	子どもの文化学校	2名
5月24日	クレーム対応研修 対応の実践力強化を目指す	埼玉建産連研修センター	1名
5月27日	子ども文化 子どもの姿を語り合い、園生活を豊にする教室	子どもの文化学校	2名
5月29日	人事評価制度の整備、再構築方法を学ぶ	埼玉会館2階ラウンジ	1名
5月31日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
6月3日	吉永先生による音講座	鶴ヶ岡すまいる保育園	6名
6月4日	子ども文化 子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
6月5日	集団給食栄養管理状況報告書の結果について	朝霞市コミュニティーセンター	1名
6月5日	子ども文化 1歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
6月6日	次世代リーダー研修	すこやかプラザ	1名
6月16日	汐見先生にこれからの子育て保育の未来を聞く	学研本社	1名
6月17日	子ども文化 子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	2名
6月20日	次世代リーダー研修	すこやかプラザ	1名

6月 20 日	浅井先生による保育所保育指針を学ぶ	鶴ヶ岡コミュニティーセンタ ー	9名
6月 20 日	防火管理者講習	入間東部付く事務組合	1名
6月 21 日		本部	
6月 21 日	子ども文化 同僚性を高めより良い職場をめざす教室	子どもの文化学校	1名
6月 24 日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
6月 24 日	村上先生による発達講座	鶴ヶ岡すまいる保育園	9名
6月 28 日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
7月 2 日	スーパーバイザー養成研修	すこやかプラザ	1名
7月 3 日	保育研究大会	大宮ソニックシティ	1名
7月 3 日	子ども文化 1歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
7月 4 日	次世代リーダー研修	すこやかプラザ	1名
7月 4 日	保育研究大会分科会 食育	ソニックシティ	1名
7月 8 日	子ども文化 子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	2名
7月 9 日	スーパーバイザー養成研修	すこやかプラザ	1名
7月 10 日	地域に根ざした社会福祉法人として	社会福祉協議会	1名
7月 16 日	子ども文化 子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
7月 16 日	スーパーバイザー養成研修	すこやかプラザ	1名
7月 19 日	子ども文化 同僚性を高めより良い職場をめざす教室	子どもの文化学校	1名
7月 22 日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
7月 22 日	キャリアアップ マネジメント	大宮ソニックシティ	1名
7月 26 日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
7月 26 日	花原先生による造形講座	鶴ヶ岡コミュニティー センター	7名
7月 22 日	キャリアアップ マネジメント	大宮ソニックシティ	1名
7月 30 日	スーパーバイザー養成研修	すこやかプラザ	1名
7月 31 日	子ども文化 1歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
8月 2・3日	楽習保育 初級	子ども教育センター	1名
8月 5 日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
8月 5・6日	見守る保育セミナー	保育環境研究所 GT	1名
8月 6 日	スーパーバイザー養成研修	すこやかプラザ	1名
8月 17 日	キャリアアップ 食育 アレルギー対応	ジョイフル	1名
8月 22 日	腰痛講座	鶴ヶ岡すまいる保育園	4名

8月 23日	キャリアアップ 食育 アレルギー対応	ウェスタ川越	1名
8月 24日	キャリアアップ 障害児保育	ウェスタ川越	2名
8月 25日	子ども文化 子どもと親を支援する保育と障がい保育	東京教育専門学校	1名
8月 26日	キャリアアップ 保護者支援	ウェスタ川越	2名
8月 27日			
8月 28日	子ども文化 1歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
8月 30日	子ども文化 保育を支える思想と哲学	子どもの文化学校	1名
8月 30日	楽習保育 中級	SP 神保町第3名	1名
8月 31日			
8月 31日	キャリアアップ 障害児保育	ウェスタ川越	1名
9月 2日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
9月 2日	キャリアアップ 乳児保育	子どもの文化学校	1名
9月 3日			
9月 4日	子ども文化 映像から読み解く保育のまなざし	子どもの文化学校	2名
9月 5日	キャリアアップ 保健衛生、安全対策	埼玉県立大学	1名
9月 6日			
9月 6日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
9月 9日	子ども文化 子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	2名
9月 10日	ふじみ野市社会福祉法人相談支援研修会	ふじみ野市役所	1名
9月 11日	子ども文化 赤ちゃんと脳科学	子どもの文化学校	1名
9月 17日	腰痛講座	鶴ヶ岡すまいる保育園	4名
9月 17日	キャリアアップ 保健衛生、安全対策	大宮ソニックシティ	1名
9月 17、18日	キャリアアップ 保健衛生、安全対策	ウェスタ川越	2名
9月 20日	子ども文化 同僚性を高めより良い職場をめざす教室	子どもの文化学校	1名
9月 21日	キャリアアップ 保健衛生、安全対策	大宮ソニックシティ	1名
9月 27日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
9月 30日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
10月 2日	遊びの重要性 0から6歳まで	子どもの文化学校	1名

10月8日	子ども文化 子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
10月11日	子ども文化 保育を支える思想と哲学	子どもの文化学校	1名
10月16日	子ども文化 映像から読み解く保育のまなざし	子どもの文化学校	3名
10月18日	労働衛生管理 労働衛生管理教育	入間産業文化センター	2名
10月18日	衛生管理推進者養成講習	入間市産業文化センター	1名
10月20日	園庭研究会	横浜市旭区民文化センター	4名
10月21日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
10月24日	防災管理講習	入間東部地区事務組合	1名
10月25日	腰痛体操	鶴ヶ岡すまいる保育園	4名
10月25日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
10月26日	保育の本当を探求する会	入間市健康福祉センター	8名
10月28日	子ども文化 子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	2名
11月7日	浅井先生による保育所保育指針を学ぶ	鶴ヶ岡コミュニティーセンター	8名
11月8日	子ども文化 保育を支える思想と哲学	子どもの文化学校	1名
11月10日	保育がさらに楽しくなる保育者のコミュニケーション	学研ビル	1名
11月13日	子ども文化 映像から読み解く保育のまなざし	子どもの文化学校	2名
11月13日	ふじみ野市情報交換会 施設見学	ふじみ野どろんこ保育園	2名
11月14日	保育環境評価スケール①3歳以上を用いた評価実習	栗橋さくら幼稚園	1名
11月15日	子ども文化 同僚性を高めより良い職場をめざす教室	子どもの文化学校	2名
11月18日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
11月19日	子ども文化 子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
11月20日	吉永先生による感性と表現講座	西公民館	8名
11月22日	ふじみ野市情報交換会 施設見学	上野台保育園	1名
11月25日	子育て支援員研修	大宮 JA 共済ビル	1名
11月29日	子ども文化 加藤繁美保育教室	子どもの文化学校	1名
12月1日	子育て支援員研修	大宮 JA 共済ビル	1名
12月4日	子ども文化 映像から読み解く保育のまなざし	子どもの文化学校	3名
12月5日	井上先生によるワークショップ	鶴ヶ岡すまいる保育園	4名
12月6日	子ども文化 保育を支える思想と哲学	子どもの文化学校	1名
12月7日	子育て支援員研修	大宮 JA 共済ビル	1名

12月7日	子ども文化 子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
12月9日	子ども文化 0歳児クラスの教室	子どもの文化学校	1名
12月20日	子ども文化 保育を支える思想と哲学	子どもの文化学校	1名
12月21日	危機対応コミュニケーションセミナー	コングレスクエア日本橋	1名
12月21日	子育て支援員研修	大宮 JA 共済ビル	4名
12月28日	子育て支援員研修	大宮 JA 共済ビル	5名
1月5日	子育て支援員研修	大宮 JA 共済ビル	1名
1月10日	子育て支援者研修	西公民館	1名
1月18日	子育て支援員研修	大宮 J A共済ビル	4名
1月22日	浅井先生による要録、連絡帳の書き方	鶴ヶ岡コミュニティーセンター	8名
2月4日	ふじみ野市子育て支援研修会	西公民館	4名
2月27・28日	キャリアアップ 保健衛生、安全対策	川越東上ビルディング ウエスタ川越	1名

## 16. 苦情解決のうち報告すべき事項

- 特に苦情はありませんでした。

# 令和元年度 鶴ヶ岡すまいる保育園 事業報告書

## 17.2019年度 総括

- (ア) 保育環境整備(園庭、室内ワークショップ)
- (イ) TS ネットワーク(地域や保護者とのつながり)
- (ウ) 園バスの利用

① 保育環境としては、昨年度に引き続き、子ども環境アドバイザーの井上寿先生の指導のもと、室内や園庭の環境の改善に取り組む。昨年度は職員同士の対話を大切にやり取りを重ねてきたが、今年度は職員との対話に加え、子どもたちが主体的に「参画」することをテーマに取り組んできた。園庭では、「すぐに水たまりになっちゃうから鬼ごっこができなくてつまんない」「ブランコがほしい」といった意見が聞かれたため、業者の方に砂と土を入れてもらい、それらを自分たちでならす活動から始まり、ワークショップでのブランコづくりにつながった。また、室内は、「落ち着いて図鑑が見たい」「ゲームをやる場所がほしい」「支援センターのロフトより広い場所がいい」などの意見を基に子どもたちが直接井上先生とやり取りをして図面を引いてもらった。このように、子どもたちに参画してもらいながら環境整備を進めてきたことで、ワークショップ当日は、木材を何往復も運ぶなど保育者の手伝いをする子が多くいた。このような参画意識の芽生えによって、主体的で生き生きとした活動となる事を大いに感じさせてもらうことが出来た。今年度も保護者の参加としては行事の中で一緒に行ってきたが、これらの活動をより可視化していくことで、保護者と共に子どもたちの過ごす環境と一緒に創り上げていくことが来年度以降の課題だと感じる。

### ◎子どもたちの参画

#### 【園庭の土、砂入れ】



自分たちで園庭整備。水たまりのできにくい園庭にします。土や砂を一輪車などで運んだり、スコップを使ってならしていきます。

### 【ブランコ】



欲しかったブランコ。柵がなくとも自分たちで危なくない程よい距離感で順番を待っています。自然と遊びのルールがうまれています。

### 【砂場整備、ダブル土台】



大きな砂場と乳児用砂場が出来、ゆったりと遊ぶ姿が見られます。ダブル土台は上と下に分かれて遊んだり、ちょっと見晴らしがよい場所でくつろいでいます。

### 【わくわく組ロフト】



子どもたちが参画して作ったわくわく組ロフト。登り方を考えたり、登れた先では図鑑を見たりカブラなどをゆっくりと作ることが出来ます。遊びの幅が広がりました。

② TS ネットワーク（鶴すまネットワーク）の活動は2年目となる。今年度も保護者や地域の方が子どもたちと関わりを持てる場を多く作ってきた。「よさこい祭り参加」「流しそうめん」「フラダンス体験」「多世代交流ウィーク」「ハロウィンウィーク」「焼き芋会」「勤労感謝ウィーク」「餅つき」「伝統文化ウィーク」「梅祭り参加」などを行ってきた。今年度は、コミュニティーセンターで地域の方が行っている「ぴんしやん体操」「太極拳」に子どもたちが月に数回参加することも継続してきた。日常生活の中にこのような光景が当たり前のように広がってきたことで、関わり合いが深まってきたと感じる。また、勤労感謝の日にちなんで、保育園に出入りしている八百屋さんやごみ回収業者の方のお手伝いをする機会を作る。お手伝いをしたことで「様々なお仕事を知る」貴重な体験となったようだ。今年度もフェイスブックを使い保育園の活動などを発信すると共に、ホームページにブログを立ち上げた。ブログでは、日々の子どもたちの様子を保育者目線で発信することで、幅広く保育園での活動や保育者のまなざしを伝えることが出来てきているように感じる。

【TS ネットワークの取り組み】



【フラダンス】



【こま名人】



【業者さんのお手伝い】

③ 園バスが導入されたことで、子どもたちの活動範囲が広がった。姉妹園との交流はもとより、子どもたちの興味、関心に応じて遠方まで遠足に行くことが出来るようになった。今年度の実践としては、春、アゲハチョウの幼虫を捕まえて飼育する過程の中で子どもたちの興味、関心が広がり、北本自然観察センターに遠足に行った。センターの方に直接話を聞く機会が出来たことで子どもたちの活動は制作などにも広がっていった。

また、けやの森学園、三富今昔村、伊佐沼冒険の森など多くの自然体験に繋げることが出来た。

2歳児の子どもたちもバスを利用して遠足に行くことが出来た。やはり、幼児の子どもたちがバスに乗っている姿を見ていたので、憧れの気持ちが強く、とても楽しみにバスに乗ることが出来ていた。2歳児は近隣の公園ではあったが、来年度以降に繋げられたのではないかと思う。



【けやの森での自然体験】



【三富今昔村】



【北本自然観察センター】

## 18. 児童利用状況

### 月別利用児童受託状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳児	5	5	8	7	7	8	9	9	9	9	9	9
1歳児	19	19	19	19	20	20	20	20	20	18	18	18
2歳児	17	17	17	16	15	14	17	18	18	18	18	18
3歳児	21	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
4歳児	16	16	16	16	16	16	17	17	16	16	16	16
5歳児	13	15	15	13	13	13	13	13	13	13	13	13

### 延長保育利用状況(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用総人数	84	135	127	140	118	137	194	189	180	150	116	

## 19. 保育園開所時間

		保育標準時間	保育短時間	備考
早朝延長	7:00~8:00	最大 11 時間	有 料	
通常保育	8:00~16:00		最大 8 時間	
夕方延長	16:00~18:00		有 料	
有料延長	18:00~19:00	有 料		土曜日は無し

## 20. 職員

### 3月1日時点での在籍内訳

常勤職員	16人	保育士	13人	看護師	0人	栄養士	0人	事務	0人
パート職員	25人	保育士	14人	看護師	2人	栄養士	1人	事務	1人
調理員	3人	嘱託医	2人						

## 職員在籍状況(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
在籍総数	49	48	48	48	47	41	41	40	40	40	41	41	524
うち施設長	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち保育士正規	15	15	15	15	14	14	13	13	13	12	12	12	163
うち保育士パート	12	12	12	12	12	12	10	11	11	11	11	11	136
うち看護師	3	3	3	3	3	2	2	1	1	2	2	2	27
うち調理員	5	5	5	5	6	4	4	4	4	4	4	4	54
うち用務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
うち事務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
うち産休育休	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	4	4	39
うち保育補助	9	8	8	8	6	6	6	6	6	6	6	6	81

## 21. 運営報告

### (10) 開催した施設内会議

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
全体会議	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
わくわく会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこにこ会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
にこわく会	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
リーダー会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
バンビーニ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
インパラーレ	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0

- ① バンビーニ…時間勤務の職員に対するミニ研修
- ② インパラーレ…3年目以上の職員が1年目の職員に対するミニ研修

### (11) 各種ワーキングチームを設置し、職員主体での運営

研修 WT	職員の資質向上に向けて組織的、かつ体系的な研修計画に基づいて進める
安全 WT	園内外の環境整備および保全、安全・防災に関する意識の強化、子どもと保護者への情報発信と学び合いに務める
食育 WT	健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培えるよう、食育計画の作成や食育環境、栄養管理などに取り組む
環境 WT	子ども自ら環境に関わり、活動が豊かに展開されるよう様々な環境を整えていく
絵本 WT	絵本が子どもたちの発達に及ぼす影響の大きさを考え、絵本環境がより身近になるような環境づくりや保護者との絵本を通じた連携を図る

## 22. 保育・処遇

### (5) 保育・保護者面接および発達相談・園児の保護者への支援および意見要望への対応

保育	<ul style="list-style-type: none"><li>・保育者と保育内容や環境について共有し、適宜、悩みや戸惑いに寄り添えるよう努めた。</li><li>・職員とは定期的に個別面談を行った。</li></ul>
保護者面談および発達相談	<ul style="list-style-type: none"><li>・発達相談として数回面談を行う。現在の子どもの状況などを共有することで、双方の理解を深めながら子どもへのかかわりや環境について考える。</li><li>・子育てへの不安などに対し、適宜個別面談の時間を作る。団結力や友達との関わりなどについての不安を抱えている家庭が多く見られた。今後も育儿に対する不安や戸惑いなどを表現できる環境、場づくりができるよう努めていきたい。</li></ul>
園児の保護者への支援および意見要望への対応	<ul style="list-style-type: none"><li>・保護者会役員との話し合いの場を作る。今年度は秋祭りや来年度の行事などについて話し合った。秋祭りは「つるすまフェスタ」として保護者会との共催行事となり、一緒に楽しめる行事となった。来年度以降も保護者が参画できる場をより多く作っていきたい。</li></ul>

### (6) 年間行事の振り返り



・今年度、下半期の保育計画を可視化する。年度初めに保育計画を立てるが、保護者や地域の方にはわかりにくいところがあった。そこで、ねらいや計画されていることを明確に示すことで、より保育園で考えていることが分かりやすくなった。また、それぞれの行事については、計画通りに行うだけでなく、子どもたちの興味、関心に沿って臨機応変に変更していくことを大切にする。具体的には、わくわく組では、9月に智光山公園に行くことを計画していたが、子どもたちのアゲハ蝶への興味をきっかけに「北本自然観察センター」に変更した。これら計画については、実際に3月の園内研修にて振り返りを行い、実際行った活動を写真に出して可視化するところまで行った。このように、計画を立てるだけでなく、PDCAサイクルによって見直していくことの大切さを感じた。

・ふれあい遊び会は、三丁目すまいる保育園との合同での開催となり2年目となる。昨年度、連携を取ることの難しさが課題として挙がっていたため、今年度は早い時期から定期的に担当者同士の打ち合わせを行い、適宜園全体に発信していった。競技内容などは子どもと話し合いをしているため、どうしても直前まで決まらないところもあったが、連携の課題という点においてはかなり改善されたのではないかと感じる。土曜保育も合同となったということを考えると、やはりいろいろな場面で交流したり一緒に行事を楽しむことで保護者理解にもつながると感じる。今後も様々な場面で連携しながら保育していきたい。

・今年度は、保護者会が主催で開いていた「秋祭り」をウインターフェスタとの共催という形で開催した。アンケートからもおおむね好評であり、子どもも大人も楽しめるイベントとなったのではないかと思う。来年度については現在保護者会とも話し合いをしている。

## (12) 給食・食育運営状況

・昨年度、食事の時間に幅を持たせることで一人一人に合わせてゆったりと食事を楽しめる環境が整ってきたが、今年度は更に落ち着いた空間となった。理由としては、保育者の理解が深まると共に子どもたちも環境に慣れてきたことがあり、本当に自分の食べたい時間に食事ができるようになったようだ。また、合わせて室内や園庭の空間の制限も少なくなり、子どもたちがじっくりと遊び込める環境となってきたこともあり、自然と時間差が出来るようにもなってきたところもある。保育者のかかわりはとてもゆったりしており、配膳時も一人一人しゃがみながら行うなど所作もきれいであると感じる。食べる場所も、ホールだけでなくテラスを使って食べる姿も多く見られるようになった。今までは、子どもたちがテラスで食べても良いのか確認を取っていたが、現在では自由に食べたい子が食べたいときにテラスを利用できるようになっている。

・厨房と保育の一体化として、保育者が定期的に厨房に入り調理をする機会を作る。始めはお互いに慣れなかった為戸惑うことも多かったが、入る時間や日数など対話を重ねていくことで保育者が厨房に入る事が当たり前の光景となっていました。現在も業務の隙なくお互いに連携を取りながら進められるようになっている。

## (13) 保健に関する実施結果

園児健康診断	6月19日と10月16日の2回実施
歯科検診	6月17日の1回実施
保健だより	毎月児童数配布
職員健康診断	年1回
職員検便	毎月、乳児担当、厨房担当、食育担当実施
流行した感染症	7月に手足口病に22名感染する。 2月にインフルエンザA型に15名感染する。 今年度は、大きく流行してしまう感染症が出たが、基本的には窓、出入り口などを開放している為、病気での欠席児が少ないと感じる。
その他、保険に関する取組	5月25日、7月6日の2回に分けて普通救命救急講習受講 8月13日、14日と3月30日、31日に厨房設備の害虫駆除実施 希望する職員にインフルエンザの予防接種

## (14) 安全対策

### ア 防災対策

#### 9. 避難訓練等実施状況

実施日	訓練内容	消防署立会	消防署届出	その他
4月15日（月）	避難・消化	無	無	
5月15日（水）	避難・消化	無	無	
6月14日（金）	避難・消化・通報	有	有	通報訓練

				水消火器訓練
7月12日（木）	避難・消化	無	無	
8月8日（木）	避難・消化	無	無	
9月13日（金）	避難・消化	無	無	
10月15日（金）	避難・消化・通報	有	有	通報訓練 水消火器訓練
11月15日（金）	避難・消化	無	無	
12月13日（金）	避難・消化	無	無	
1月16日（木）	避難・消化	無	無	
2月15日（金）	避難・消化	無	無	
3月13日（金）	避難・消化	無	無	

## 10. 非常災害備品の設置

- 空気発電地を購入する。

## 11. 侵入者、不審者訓練

5月21日(火)に警察の方に来ていただき、不審者訓練を行う。その際に、マニュアルや園の設備について確認し、不備が多々見られた。その後、マニュアルの整備と必要な備品を購入し、園内研修で設置場所や実際の行動確認を行う。12月19日(木)に再度警察の方に来ていただき、同様に不審者訓練を行う。研修で動きなどを確認しており、備品も設置してあったため、子どもの誘導や不審者対応がスムーズにできた。このように、実際に対応できる訓練を定期的に行うことが大切だと感じた。

## 12. 子どもがいなくなった時の訓練

12月17日(火)に行う。2階の倉庫に保育者と一緒に待機していたが、一定時間いなくなっこなこと自体に気付かなかった。やはり、園内を自由に行き来している為、定期的な人数確認をする必要がある。そこで、人数確認を行う時間を明確に決めて担当者が必ず行うこととした。

## 13. 実施した環境整備の状況

ワークショップ以外では、室内と園庭、にこにこ組とわくわく組などの制限を極力なくしていくことに取り組んだ。制限とは子どもたちが自分の意志で自由に行き来できる「時間」と「空間」を保証していくことを考えていった。テラス側のドアを常に開けておくだけでも、子どもたちは室内と園庭を自由に行き来できる。朝一番で園庭に出ていった子が、ちょっと遊んだら室内に戻ってくることもある。しかし、午前中の生活の中で室内が飽きればまた園庭に出ていくといった、とても自然な姿が見られるようになった。保育者としても、そのような姿にはじめこそ戸惑いもあったが、徐々に慣れ自然に受け入れられるようになってきた。昨年度より、午睡も選択制にしているが、生活全体が子どもたち一人一人に合わせて対応できるようになってきた。現在では2歳児クラスでも満3歳を過ぎた子たちは自然と眠らなくなり、園庭を元気いっぱい遊びまわっている。保育者の関わりもあるが、子どもたちが自然と選択できる環境となっている。

## (15) 地域との関わり

### ア 子育て支援

- ・5月にお茶屋さんに見学に行き、いろいろな茶葉の「におい」や「味」の違いを感じさせてもらったり、工場見学を楽しむ。
- ・7月に大井祭りに参加し、5歳児の子どもと保護者、職員による「よさこい」を披露する。
- ・地域の方から長い竹を頂き、流しそうめんを楽しむ。竹は流しそうめんが出来るように割ったり節を取ってくれた。
- ・フラダンスチームに来て頂き、ダンスを披露して頂く。子どもたちも楽しみにしており、すずらんテープで衣装を作ったり、一緒に踊ったりして楽しめた。
- ・8月に上福岡七夕祭りに笹飾りを出品する。七夕の行事にちなんで、興味のある子たちで少しづつ飾りづくりを楽しむことが出来た。
- ・勤労感謝ウィークでは、子どもたちが園内に入っている業者さんのお手伝いをさせてもらう。
- ・ハロウィンウィークでは、地域の方にお菓子の配布にご協力いただく。
- ・10月フラダンスチームに再度来ていただき、ダンス交流を楽しむ。
- ・焼き芋ウィークでは、保護者の方に火おこしなどからお手伝いしてもらい一緒に楽しむ。
- ・11月に小学校の炊き出しにお邪魔し、地域の方や小学生との交流を楽しむ。
- ・伝承文化ウィークでは、独楽名人に来ていただき、子どもたちと一緒に楽しむ。今年も独楽ブームとなり、3歳児にも独楽回しができる子が多く見られた。
- ・2月にコミュニティセンターの梅まつりに参加し、わくわく組の子どもたちの作品を中心に展示する。
- ・地域の書道が得意な方に来ていただき、5歳児に向けて書道体験をする。
- ・保健センターの方に来ていただき、5歳児に向けて歯磨き指導をしていただく。
- ・わくわく組を対象に地域の方に交通安全指導をしていただく。

## 4. 危機管理

- ・安全WTによるヒヤリハットの分析（濃淡管理）を行った。インシデントとアクシデント、ヒヤリハットを分け、引っ搔きや噛み付きなどはインシデントとしてデータ管理に移行する。
- ・ここにこ組の前のテラス下のコンクリート（ハザード）を取り除くために、すのこを作り敷き詰める。一面にすのこを敷いたことで保育者の安心感が高まり、乳児がテラスでハイハイしていても安心して見守れるようになった。それに伴い、必要以上の声掛けがなくなり、よりのびのびと過ごせる環境になったと感じる。
- ・トイレや倉庫などの閉じ込め防止の為、室内のトイレは開け閉めせず開放する。また、備品などがしまってある倉庫に関しては、開け閉めの際にチェックを付けられるようチェックリストを作成し、その都度チェックすることで安全を確保する。
- ・毎日保健日誌をつけることで感染症などの把握に努めるとともに、連絡帳の確認も行い保護者からの発信（クレームなど）に対して適宜対応できるよう体制を整備する。それにより、どのようなことに対しても職員間の共有がしやすくなった。

【テラス下のすのこ】



【倉庫のチェックリスト】



## 5. 職員研修(園内研修)

2019年度 内部研修実績

日付	研修内容	参加人数
4月20日	・誤飲、誤嚥 ・SIDSについて ・個人情報について ・事務連絡・保護者アンケートについて・虐待について ・アタッチメントについて ・エピソード記録	23名
5月11日	・散歩先、散歩ルートの安全確認 ・配置について ・熱中症、虫（蜂、毛虫等）、水遊びについて ・命のリストについて ・園内外の環境についての話し合い	23名
6月1日	・食事について ・熱中症について ・不審者対応 ・気付きボードより 園内に落ちていた物 ・月案、指導案作成・保育参加について・懇談会について	22名
7月13日	・子どもの安全力について・竜巻について・よさこい練習 ・指導案作成・よりより食育活動の為に・外部研修報告 ・エピソード記述について・ハザードをなくす環境作り、手作りおもちゃ整備	19名
7月27日	・HPについて ・事務連絡 ・参画について ・浅井拓久也先生講義～保育指針の概要について～ ・分科会活動報告・外部研修報告 ・研修に関して	29名 ※三園合同
8月24日	・行事について ・各月齢の10の姿について ・10の姿をふまえて下半期の計画を振り返り、変更し、可視化する	24名
9月7日	・研修の目標・子どもが育つ環境を考える ・保育所保育指針の理解を深め実践にいかす・各分科会活動報告 ・小嶋泰輔先生講義～個性心理学をヒントに～	22名 ※三園合同
9月28日	・行事準備 ・保護者Q & A ・安全に対する意識調査 ・○歳までに育ってほしい姿チェック ・事務連絡	23名
10月5日	・行事準備・エピソード記述 ・満3歳児担当者話し合い ・○歳までに育って欲しい姿について ・環境整備（掃除）	20名 ※AMは三丁目と合同
11月30日	・行事準備・入職歴別グループに分かれ、エピソード記述 ・ワインターフェスタでの活動を10の姿にどうつながるか ・普段の姿からどう行事へつながっているか ・事務連絡	26名 ※PMは三園合同
12月21日	・炊き出し・インフルエンザについて・散歩について・人権について ・DIY(パーテーション、作業台)・環境整備	19名
12月28日	・掃除・宿グループの就学に向けて・事務所で遊ぶ子ども達について ・園庭のハザードについて	18名
1月18日	・食育分科会より・GT環境セミナー発表・園バスについて ・懇談会に向けて・エピソード記述・園で困っている事・各分科会より ・各クラス毎の話し合い・法人より・環境整備	59名 ※三園合同
2月1日	・にこにこ組懇談会スライドショー・今年度の計画の振り返り・虐待について・実習生について・連絡帳の書き方について（グループディスカッション）・外部研修報告・園庭の水道の凍結防止について・環境整備	23名
2月15日	・各分科会報告・平成31年度活動報告①園バスの活用・法人より ・新体制顔合わせ、引継ぎ、確認・来年度保育計画見当、立案 ・活動報告②ワークショップを通して・AGチーム活動報告・深淵準備・事務連絡・法人より・環境整備	58名 ※三園合同
3月7日	・個人情報について・卒園式について（新型コロナウイルス感染予防対策を受けて）・今年度下半期保育計画完成及び来年度上半期保育計画作成・各WT今年度の振り返り及び来年度計画作成・業務実績報告書類作成・ポートフォリオ作成・今年度書類〆	18名
3月14日		
3月28日		

研修内容 【危：危機管理、ヒヤリハット】【発：子どもの発達(養護、教育、発達支援)】【食：食育】

【保：保護者支援】【感：感染予防】【遊：遊び、手遊び、わらべ歌等】【他：その他】

## 2019年度 外部研修実績

日付	研修内容	場所	参加者
4月6日	汐見稔幸先生と学ぶルソーとデューイ	清里泉寮	1名
4月10日	埼玉県の福祉について 福祉職としての倫理① 社会保障体系の理解①	彩の国すこやかプラザ	3名
4月11日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	1名
4月23日	社会人としてのマナー 待遇 聞く力 伝える力	彩の国すこやかプラザ	3名
5月5日	日本保育学会	大妻女子大学	1名
5月8日	仕事の進め方 手順 チームワークとコミュニケーション	彩の国すこやかプラザ	3名
5月9日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	1名
5月12日	第6回保育の質を考えあうシンポジウム	東京セミナー学院 池袋	1名
5月15日	チーム力で質の高い保育実践を	子どもの文化学校	1名
5月16日	子どもの心が育つということ	子どもの文化学校	1名
5月17日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
5月22日	福祉職としての倫理② 社会保障体系の理解② 記録の書き方	彩の国すこやかプラザ	3名
5月26日	汐見稔幸先生と学ぶルソーとデューイ	清里泉寮 自然学校	1名
5月27日	子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	1名
5月29日 ～31日	・職場研修担当者研修会 施設職員コース	中央福祉学院「ロフォス湘南」	1名
6月4日	子どもの感性と表現	鶴ヶ岡コミュニティーセンター	9名
6月4日	子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名

6月5日	こころとからだのしくみ 相談面接技術の基本	彩の国すこやかプラザ	3名
6月12日	保育者の意欲を引き出す援助	子どもの文化学校	1名
6月13日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	1名
6月14日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
6月16日	汐見先生とこれからの子ども子育て、保育のみらいを聞く	学研ビル	1名
6月17日	子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	1名
6月18日	給食従事者研修会「安全でおいしい給食とは」～給食従事者の役割を考えてみよう～	ウェスタ川越 活動室3	2名
6月20日	保育所保育指針の改定の概要	鶴ヶ岡コミュニティーセンター	11名
6月21日	セルフマネジメント モチベーションアップ 求められる職員像 挑戦目標設定 振り返りとまとめ	彩の国すこやかプラザ	3名
6月22日	カツリキさんと歌っちゃおう 踊っちゃおう	フクトピア多目的ホール	2名
6月24日	体罰について メディアについて 子どもの食事について	鶴ヶ岡すまいる保育園	7名
6月29日	加藤繁美先生勉強会	狭山産業労働会館	7名
7月5日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
7月8日	子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	1名
7月11日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	2名
7月11日	お茶の水女子大学こども園施設見学	お茶の水女子大学こども園	1名
7月15日	汐見稔幸先生と学ぶルソーとデューイ	ぐうたらビレッジ	1名
7月16日	子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
7月17日	副園長、主任、リーダー保育士の実践スキル	子どもの文化学校	1名

7月26日	花原先生より 表現について	鶴ヶ岡すまいる保育園	6名
7月31日	子ども子育て家庭の現状、児童虐待と社会的養護	JA 共済埼玉3F 大会議室	1名
8月2日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
8月4日	子どもの発達、保育の原理	JA 共済埼玉3F 大会議室	1名
8月6日	子育て支援員研修地域保育コース	埼玉県産研修センター	1名
8月8日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	2名
8月22日	子育て支援員研修地域保育コース	埼玉県産研修センター	1名
8月23日	人権教育指導者養成講座「発達障碍児へのかかわり方」	福原小学校	1名
8月29日	子育て支援員研修地域保育コース	埼玉県産研修センター	1名
8月30日	子育て支援員研修地域保育コース	埼玉県産研修センター	1名
9月6日	虐待防止研修	彩の国すこやかプラザ	1名
9月8日	子どもへの責任(社会の中の保育の課題)	子どもの文化学校	1名
9月9日	手軽にできる感覚統合	中目黒住区センター	1名
9月12日	子どもの姿を語り合い、園生活を豊かにする教室	子どもの文化学校	1名
9月13日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	2名
9月27日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
9月29日	マッサージで感覚統合～家庭で気楽にメンテナンス～	中目黒住区センター	1名
10月2日	埼玉県子育て支援員研修(基本研修)	ウェスタ川越	1名
10月3日	埼玉県子育て支援員研修(基本研修)	ウェスタ川越	1名

10月4日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
10月6日	感覚統合入門講習会 基礎コース	日本リハビリテーション専門学校	1名
10月8日	子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名
10月10日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	1名
10月14日	埼玉県子育て支援員研修(専門研修)	ウェスタ川越	1名
10月16日	埼玉県子育て支援員研修(専門研修)	ウェスタ川越	1名
10月20日	園庭研究会	横浜市瀬谷公会堂	3名
10月22日	埼玉県子育て支援員研修(専門研修)	ウェスタ川越	1名
10月25日	逸脱と参画の保育実践学	子どもの文化学校	1名
10月26	加藤繁美先生勉強会	入間市健康福祉センター	6名
11月7日	浅井塾	鶴ヶ岡コミュニティーセンター	7名
11月13日	他園見学	ふじみ野泥んこ保育園	1名
11月14日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	2名
11月14日	新保育環境スケール	さくら幼稚園	1名
11月20日	子どもの感性と表現～音感受の世界～	ふじみ野西公民館	2名
11月29日	子どもと歩けばおもしろい	子どもの文化学校	1名
12月12日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	2名
12月13日	4歳児保育の教室	子どもの文化学校	1名
12月17日	子どもと毎日を楽しむ保育者を目指す教室	子どもの文化学校	1名

12月21日	危機対応コミュニケーションセミナー	コングレススクエア日本橋	1名
1月16日	藤森メソッド勉強会	新宿せいがこども園	1名
1月21日	子育て支援の研修会	西公民館	2名
1月22日	浅井塾	鶴ヶ岡コミュニティーセンター	7名
1月23日	子ども達との丁寧な関り	ウェスタ川越	3名
2月4日	子どもを中心に保育の実績を考える	埼玉市民会館うらわ 705,706 会議室	2名
2月14日	新任職員研修会	彩の国すこやかプラザ	2名

## 6. 苦情解決のうち報告すべき事項

- ・ご意見 BOX や口頭、連絡帳などで寄せられた全ての意見、要望、苦情については、原則「苦情対応体制」に従い、個別に対応しました。